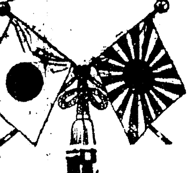
（一）　第四百十四號　（金曜日）　明治四十三年五月廿七日　（日刊）月曜及祭日の翌日休刊　（明治四十一年十二月二十三日第三種郵便物認可）

京城新報

人の一生は重き荷を負うて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社



祝海軍紀念日

日本海大海戰記

某機關大監の談

…壯快なる海戰の序幕…敵旗艦烈火密烟に包まる……見る〳〵轟沈を始めた……乘員避難の混亂……狼狽艦の追擊……

▲壯快なる海戰の序幕

五月二十七日の日本海々戰に於て我主力艦隊が始めて敵の艦隊を發見した時には、右翼列の先頭は旗艦クニャージ・スワロフであつて歷山三世、ボロヂノ、アリヨールの同型艦それに次ぎ、威風堂々として今にも日本海軍の蹉活なる猛勢に全滅の運命を招くなどとは夢にも知らず、壹岐島の西南端を北上して來たのである。

それから彼我主力艦隊の衝突に當り、先づ砲火を開いたのはスワロフで、後に續いたる僚艦及び左翼列の各艦之に次いで開砲した、處が我艦では始らく沈默を守つて、いよ〳〵着彈距離に達するまでは、一回の發砲をも試みなかつた。

と、突如として我旗艦三笠は砲火を開いて敵艦に向ひ、猛烈なる第一彈を與へ、續いて各艦は砲擊を開始した壯快なる日本海々戰の序幕は斯くして開かれたのであつた。

此戰に於て我艦隊は常に丁字の陣形を保つて敵の先頭艦を壓し、其後續戰艦に對しては十字火を集中した、我砲火威力の强烈なる、次第に敵を東南に壓迫したので、敵は支へきれず漸次に方針を轉じ、左右兩列とも混亂して、不規則なる單縱陣を作つた。

陣形變更の後に至つても、スワロフは先頭の地位を保ち、依然として我砲火の集中を受け、砲射距離見る〳〵短縮となつた。

▲敵旗艦烈火密烟に包る

射擊の効驗は愈々發揚された、二時四十分頃に至つて、スワロフは二番艦の歷山三世號と共に大火災に罹り、遂に戰列を去るの己むを得ざるに至つた、此時敵艦隊の陣形は紊亂し、右に往くもの左に逃るゝもの、其陋態窮狀全く千古の醜であつた。

「機會は來れり」我艦隊は如何で此機を逸しやうぞ、猛射、擊壓、全力を南方に集めた、第二次の激鬪は斯くて開かれたが、敵は刻一刻戰鬪力を失ひ、就中スワロフは火災に加ふるに猛擊の中心點に立つたので、檣柱先づ仆れ、煙突は二つとも見るみる破壞されて終つた。

我鏡面に映り來る此慘狀は、全く敵乍らも氣の毒な位であつた、やがて全艦は密煙に掩はれ、烟火に包まれて、一團の烟焔海上に漂ふかと思はれた、併し流石は敵乍らも旗艦のスワロフ、此かる場合も尚且つ惡戰は休めなかつたが、スワロフの運命は既に決して居る之れに向つて我主力を盡すよりは、他の完全なる敵艦に向ふの賢なるに如かず、仍てスワロフに對しては、其攻擊を驅逐隊と水雷艇隊とに托するようにした。

▲見る〳〵轟沈を始めた

是に於て千早及び廣瀨驅逐艇隊は、スワロフに對して水雷攻擊を決行した、それは午后三時四十分であつたが、越ゐて一時間後、鈴木驅逐隊の試みた水雷攻擊は、効驗確實にして、一發の猛力、美ン事スワロフの左舷後部に命中した。

火を起し、檣柱を失ひ、烟突を破つた敗殘のスワロフは、十度ばかりの傾斜をなして、損害益々加はり、最早廢艦同樣になつた。

時既に夕陽、戰列外に孤立し、著るしき傾斜を以て火烟を揚げて居た、スワロフは、更に富士本水雷艇隊の突擊を蒙つた、此時我の發射は二發、時針は七時二十分を指して居た。

最後まで抵抗を休めなかつた旗艦スワロフも我が加へたる數次の猛擊には敵せず、見る〳〵轟沈を始めた。

此壯烈慘絶なるスワロフの最期は實に見ものであつた、繪にせんも文字に綴らんも、迚も其猛烈の狀況を悉すことは出來まい。

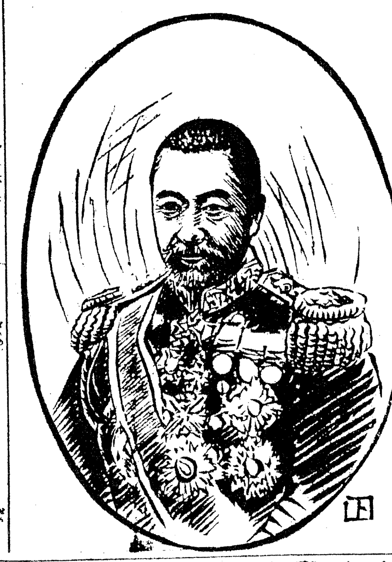
▲乘員避難の混亂

最急傾斜のスワロフが、密烟中に在つて、殷殷轟然たる音響を發したと、見る間に、海水は突如として山を湧かせ谷を穿ち、白沫數里に亘り、飛沫四方に迸り將さに沒せんとする夕陽に、最も壯絶慘絶の光景を映出して、一艦の轟沈、其波濤に及ぼす影響の如何は其當時の襲擊に任じたる水雷艇乘組員の痛切に嘗めた苦辛によつて證明される僕は當時我艦隊の列に在つて最もスワロフに近き一艦上に立ち、敵旗艦最後の慘光景を目擊した時、日本海の波浪漫々たる西の一角に、眞赤な太陽は殘せんとしてまだ沒せざる名殘の光に照し出されたるスワロフ乘員避難の混亂わけて殘檣に双手を托して浪の間に間に漂ふ一團の、見る〳〵怒濤に呑まれて遂に再び浮び出でなかつた慘況を見て敵も味方もそんな差別的の者は一切失却され、舷端に茫然たる時しも我艦から發射して巨砲の天に轟くに驚いて吾に復し、急いで所命の任務に就いたのであつた。

▲狼狽艦の追擊

此隙に我艦隊は、右往左往して頗る狼狽を極めつゝある敵の巡洋艦を追擊し敵が北方に遁竄するに乘じて追擊に移り、漸く日沒と共に前記スワロフの轟沈を以て戰鬪中止となつた、東鄕聯合艦隊司令長官の電命に接したので、直ちに針路を北東に轉じ、鬱陵島方面に向かつた、時正に七時半、スワロフの轟沈から十分後であつた。

スワロフの轟沈に先だつと十分、七時十分に敵の工作船カムチャトカを擊沈した、之れは追擊の途上に行はれたので、スワロフの最後も、同じく追擊の途上に於て行はれたる壯劇の一つであつたのだ。



東鄕海軍大將

海戰除聞　激戰中の献盃

凹凹生

此處が生命の捨て處、君國の爲めに一身を擲げ奉る、好適の場所であると見定めた日には、假令三尺の秋水を以て頸げたを叩かれやうと、大巖石が頭上に落ちて來やうとも、貧乏ゆるぎも爲ぬと云ふのが、所謂日本武士の性根魂、到底も露助などの夢にも知らぬ處である、彼日本海の大海戰に於て、美ん事敵艦を全滅せしめたと云ふも、詮ずれば此氣慨あるが爲めであつて、殊に其度胸骨の據らい處を、遺憾なく發揮したと云ふ、近頃壯快な例證があるから[illegible]の爲めに申上げやう、然し殘念なのは此實況を、彼降伏將軍子ボガトフ先生に一見せしめなかつた事である。

外でも無い彼五月廿七日の夕景、海一面は今し紫に暮れかゝつて亂れ飛ぶ砲火の閃光物凄く目を射るの頃、我艦隊の包圍に陷れる敵艦隊が、最早末路に近いて來たと見ると、司令官島村少將の座乘せる磐手艦上では、一時に拍手喝采の聲が起つて、座乘の將士互に言ひ合したやうに「何ぢや!、勝敗の數は既に定まつた、一とつ三鞭酒の盃を擧げて日本帝國の万歲を祝さうでは無いか」と、大いに勇み立つて囃し立てた、「夫れ好からう」と皆大贊成を表したけれど、如何せん空氣の激動の爲めに、士官室食堂等に置いた各種の酒瓶玻璃器などは、多く碎けて仕舞つて一瓶の飲料だに得る事が出來ぬ「殘念ぢやな、うむ好いわ、倉庫から取り出して來よう」と二三の人々はバタ〳〵さ飛び出して階子を降りて往つた、折りしも下甲板に受けた一彈の大穴から、浸水する事が甚しいので、水兵達が必死になつて修理を施して居る場合なので、其下部にある倉庫を開くことが出來ぬ、例の人達も殘念がつて「いまいましいな、折角の企ても中止せんけりやあ成らんのかな、然し此千載一遇の目出度い機會を逸するのは、此上なき遺憾ぢやから、切めては司令官と艦長丈けにても、盃を献じて渾身の喜悦を表はさうでは無いか」と、隈なく艦内を探した處が、幸ひ一瓶の三鞭酒を發見した、發見者は勇み立て「うまいぞッ〳〵」と、雀躍しながら、酒瓶を捧げて司令塔に馳せ上り「さあ、閣下、祝盃を献じます」と差出したけれども、擧ぐ可き洋盃が無いので「此奴は困つたな」としばし首を傾げて居る中、他の一人が又々一個の洋盃を見附け出して來たので、第一に司令官に献じ、更に艦長大佐に献じて、一同末期に灑せる彼敵艦を睥睨しながら、敵彈烈しく飛來する下に在つて、大聲萬歲を三唱して、掌の痛くなる迄拍手した相である、此沈勇にして快活なる擧動は、到底われ手前などには、いや恐らく世界各國の人達にも、憚りながら眞似も出來まいと思ふと、遂記者も力瘤を入れて見度くなる、實に壯絶比類なき一幅の活戰爭畵と云つても好からう。

▲日本海の海戰

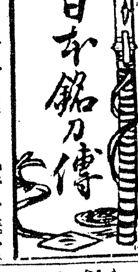
對馬かたよする仇波うち拂ひ
御旗とともにあくるかちときを

船いくさ對馬の浦の凱歌は
四方の海まで鳴りわたるらん

かつ沈みかつ捕はれて敵のふね
かげもとゞめぬひむがしの海

たゝかひもこゝに終りを告たりと
思ふばかりのかちいくさ哉

あだの艦たのみし霧をたちまちに
ふきはらひけん伊勢の神風



第百廿二席　津田近江之守（廿六）

邑井一講演

助直が味に踊んだ一言に九郎兵衛烈火の如く憤り　九「何、コリヤ斯樣な鈍な打ち方は能ういたさぬ、聞き捨てならぬ其の一言、汝講座の中において家老大野を馬鹿にするか　助「馬鹿には致しません、斯樣な具合に打つて呉れいと仰しやいますから申すので、斯樣な鈍な打ち方は能ういたさぬ、鈍だから鈍だと申したのです　九「ヤア此奴云はして置けば樣々なるところの雜言、大原眞守が何が鈍だ　助「御家老、貴郎は全体斯樣な眞赤な贋物を大原眞守と思し召すか、殊には鍔際三寸離れたる所に瑕があります、その瑕は貴殿の目には見ねますまい、强慾なる者の眼からは見ぬさうなことはない、この通り私が打ち上げますとね、これを戰場にお用ひになるとき、ポッキリと此瑕から折れて了ひます、高木近江守は折れる樣な刀は能う打ちません」滿面眞朱の如くになつて老爺は憤りましたが　九「ヤイ、よくも〳〵此方に左樣なことを申したな、何處から折れる見事折つて見ろ　助「へゝ別段私は好みませんが、小槌を以て一打ち打つときは誓つて此瑕から折れます　九「馬鹿なことを申すな大原眞守の一刀に左樣なことがあつて堪るか、然らば此所で折れ、その代りに助直、折れぬときは汝何うする　助「折れないときは貴殿が私を捉へて如何樣とも御存分に遊ばせ、その代りに大野氏折れましたら何うなさる　九「イヤ折れたら此の方は汝の存分にならう、なアに馬鹿な、おのれ其樣なことがあつて堪るものか　助「あつても無くても折つてお目に懸ける　九「ム、見事汝が」さア斯うなるといふと一同の顏は手に汗を握つて居ります、平生とは違ひ無禮講の席上なり「遣れ〳〵しつかり遣れ、どうも高木といふ奴は小氣味の好い奴である」と何れもの隙て大野を憎み居る銘々は、兩人の喧嘩を面白さうにチッと見て居りまする、其のうちに　助「恐れながら、碁盤でも宜しいます」やがて一面の碁盤を其れへ持つて參りました、すると隙て助直は着て居る上を脫ねましたることでございます、一刀の下緒を取つて襷に操り、大野九郎兵衛の一刀の鞘を拂つて右碁盤の上に之れを載せました、どうするとかであらうと少時皆の者は見て居りまするさ、何時のほどに持參いたして參りましたか、腰に手挾んだる服紗包のうちから取出しましたるは所謂玄翁樣の物でございます、自分の平生手慣れてある小槌でございましてそこで白紙を十枚ばかり水に濕して、そいつをグッと捻りまして、やがて鍔際から三寸ばかり離れたるところにギリ〳〵と此の紙を卷き付けましたることでございます、素より其の瑕といふものは中々肉眼では見掛けられぬ位でございます、その身も一つこれは便りなく心得居りまするが、岡島が難て見たときにこれには必ず瑕があるといふことを承はつても居りまするし、巳が手慣れたる腕前、願よくば此の刀折れよかしと心のうちには神祇を念じ、小槌を片手に振被つてムーと狙ひを定めました、心のうちにはおのれ大野九郎兵衛よくも先年わが主君を此の席上において知行泥棒盜賊と申したな、岡島の下郎直助が汝の魂を打折るのは、正しく汝を討つのも同樣、觀念いたせと、一心といふものは恐ろしいもので、暫く振被つてムーと睨み詰めたる其の顏は宛ながら夜叉荒神の如く、ヤッと掛けたる聲諸共打ち下しましたるとき、ポッキリその一刀は鍔際三寸ばかりの所から打ち折れた助直の精忠は神も之れを憐み玉ひたるにや、僅た一打ちにてポッキリ此の刀が折れて了ひましたこの時大勢の者はアッとばかりに驚いて其手際の程を感心いたしましたが右の折れたる刀を大野の前へ持出しまして　助「如何に御家老、斯樣な品でござりますから鈍刀だと申したのでありますが、如何であります、御注文通り折りましたぞ　九「エ、ーッ……」さしも强情我慢な大野九郎兵衛も忽ち面色變じて眞青と相成り一言半句の答もございません　助「斯樣な品の鑑定の出來ぬやうでは私も此の道で渡世することは出來ません」

●諸公債、諸株券、現物賣買、迅速確實に御取扱可申候
兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目 田中友吉商店 電話九九三番 發電略（タ）

夏物全部着荷
男女洋傘 パナマ帽子 麥藁帽子 香水 化粧品 旅行用具一式
歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商
他地方よりの御注文は振替口座又は小包郵便にて御送付可仕候
京城本町 辻屋 本店 電話二四八番 支店 電話三六六番 振替口座八七〇番



大割引 寫眞器 交換 升致
圖解目錄郵券四錢 新古
東京神田旅籠町（大通） 東京寫眞舘（電話下谷八六〇）

銘酒 白雪 灘 龍山京町 電三三一 屋

廣告

滋養と牛乳 純良 牛乳 馬車配達 衛生と消毒
京城東四軒町 岡野牧場 電話壹六九〇番

提灯 新規張替 大勉强
並に硝子看板印物調進
京城本町一丁目裏通 藤井提灯店

景福宮拂下 建物溫突 賣却
瓦斯コークス 販賣
京城南山町三丁目 電話一一四九番 酒井組出張所

第二十一號公告
一、工事請負入札公告
當民團立高等女學校々舍其他新築工事
此入札保證金見積價格百分ノ五以上入札者ハ滿二年以來斯業ニ従事スルモノニ限ル
右請負希望ノ者ハ當民團役所ニ就キ入札規則契約書案仕樣書圖面及現場等熟覽ノ上來六月三日午前十一時限リ入札書ヲ當役所ニ差出スベシ即時開札ス
此契約ハ當民團民長古城菅堂擔任ス
明治四十三年五月廿四日
京城居留民團役所

電話一八二番
京城旭町 大槻商行質部
金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱極めて安全に一定の場所に保管す
流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

最上醤油
仁川港 三巳醤油釀造場 電話七十三番

東京電報

▲韓儲の巡遊旅程 韓太子は今夏季休暇中山陰山陽地方を見學せらるゝ事に決定したり而して其の道順は東京出發大坂を經て舞鶴に向ひ丹後の天の橋立遊覽の上伯州堺に上陸鳥取縣下視察の上島根縣に赴き宍道湖を渡り出雲大社に參拜し夫れより山陽各地を巡遊せらるべし往復約一箇月の豫定なり(廿六日)

▲練習艦隊の消息 練習艦阿蘇、宗谷の二艦は二十三日豊府發新嘉坡に向け出帆したり(同上)

▲國定税率と列國 我が國定税率は著しく列國の注意を喚起し英國の如きは議會の議に上り他の列國は在横濱外人等の報告を基礎として新税は舊税率の倍又は三倍に增加せしものと認め該改正談判を開くに當りては獨佛の如き豫定の協定税率以外の國に於ては我が協定税率に滿足せずして現在率を維持したき希望あり政府は外人の誤解を除く事に苦心し居れり(同上)

▲東京相撲の渡韓 東京大相撲本場所打揚後直ちに釜山京城仁川大連に巡業するに決す一行力士は百余名なり(同上)

▲日清兵の大衝突 二十四日安奉沿線に於て日清兵大衝突をなし負傷者數名を出したるが原因不詳にて目下取調中なり(同上)

▲郵船會社の總會 日本郵船會社日本の定時總會を商業會議所に於て開く本年上半期の成績は歐米航路の概況二月末各奬勵金下附等により前期に比し頗る良好にして收入約四十萬圓の超過ありたり配當は前期繰越四十萬七百十圓當期利益金二百七十萬二千四百九十五圓内準備積立入萬五千百廿五圓重役手當五萬九千四百六十五圓配當年一割百十萬圓後期繰越八十五萬八千六百十六圓なり(同上)

▲日露協約の調印 白林電報は只今日露協約成立し調印を了せりと報道し來れり而して其の協約の内容は滿州に於ける日露の勢力範圍を確定し各自の利益を擁護するにあり(同上)

▲小切手振替貯金制 遞信省にては今回手形交換所々在地の府縣に限り小切手振替貯金繰入の制度を設け近日發表する由(同上)

▲印度王の松島遊覽 滯京中なる印度バロダ王殿下には二十五日午後五時上野發松島に赴き本日午前仙臺着松島を遊覽し同午後最終列車にて仙台發歸京さるべし(同上)

歐州電報

▲駐日支那公使榮轉 駐日支那公使胡惟德氏は今回外部右侍郎に榮轉したるが其の後任は未定なり(同)

▲輕便鐵道條例細則 輕便鐵道條例取扱細則六月一日發布さる

▲獨皇帝と英新聞 英國諸新聞は獨逸皇帝の御歸國に際し頗る鄭重なる告辭を掲げたり(廿六日)

▲反徒の滊船擊沈 ニカラグワ國砲艦ウインスマー號は反徒の滊船を擊沈し乘組員一百名溺死せり(同上)

▲佛土の國境協約 亞非利加トンスの後方に於ける佛國と土耳其との國境紛擾解決せるを以て土耳其トンス間の國境協約締結せられたり(同上)

▲波斯國王獨逸訪問 波斯國王及皇后は公式訪問の爲め伯林に到着せられたり(同上)

雜報

秘密函の眞相
(九ヶ國の條約正文)

去る廿一日の本紙は秘密箱の發見と題し韓廷に於ける秘密書類の行衛に關する記事を掲載し既に製版に着手せんとせし際突然其筋より掲載を禁止され止むなく之を取除けたるが何ぞ圖らん其同一意味の記事は大阪每日に依て報導されたれば左に轉載す

鐵製秘密函發見に關する眞相を聞くに該秘密函を發見せるは二週間前の事にして初め趙南升が勅書僞造事件に關し警視廳に拘引せらるゝや彼は極力勅書の僞造にあらざるを主張し太皇帝の信任最も厚かりし證據として曾て太皇帝より或重要外交文書の保存を委托せられ彼が天主教徒たる關係より之を佛國敎會主主敎ミユーテル氏に預け置きたることを口走りたるより三浦理事官は同敎會に赴き種々交渉の結果遂に之を返還せしめたるものにて其内容は日本及び英、米、獨、佛、露、伊、白、淸九ヶ國の條約正文を一々桐函に納め鐵製のトランクに密封せるものなり是等條約正文は日韓保護條約成立し外部を廢止したる當時紛失したれば伊藤公は大に心痛し種々探査せしも遂に發見する能はざりしものなりといふ而して趙南升の勅書僞造は事實確實なれども右秘密に附せられつゝありし該秘密函中より海牙事件の密審を發見したりといふは虛説なり又ベツセル未亡人へ一万五千圓を贈りし請取書は秘密函と關係なき別方面より發見せしものなりと

●忠北と慶北の教育 去る二十五日忠北慶北兩道三十郡視察の任務を終へて歸任したる學部當局者の談を聞くに同地方は概して教育熱盛んならず兩道を合して公立四私立二十六の普通學校を有するに過ぎず平南北道の如く普通學校濫設の弊を見ざるも而かも兩班の住民多きを以て排耶蘇教思想強く從つて普通學校に補助を與へざる爲め其の維持も極めて困難なるが如し尤も昨年同地方を視察したる際日人教師の如きは幾影をだも認むる事能はざりしが今日にては學部補助指定學校は元より私立學校にても任意に日人教師を招聘し日語研究は一般に非常なる熱心を以て歡迎せられつゝあり現に觀察使郡守等も各普通學校に日人教師を有せざるを以て恥辱と思惟したれる狀勢なれば遠からずして日人教師隨所に增聘せらるゝと共に諸般の學制も整頓の域に達すべしと云々

●海州地方又々不穩 黃海道海州郡錦山面地方國有地測量の妨害を爲さんとて六百餘名集合したるも測量を中止したる爲解散したることは既報の如くなるが右測量班に於ては警察憲兵保護の下に之を續行することとなり同面甘水洞に宿泊したるに二十二日約二百名の人民集合し妨害を爲さんとせし測量班か海面幕方面に向ひしを以て引揚げたるが援護隊にては其中の主謀者らしき者四名を召喚し二名を抑留し置きたるに越へて二十四日朝附近の小高き處に二三人宛現はれ正午頃二百名以上となり甘水洞に押掛け來りしを以て主謀者二名及面長等に其不心得を懇々説諭せしに彼等も大に悟り主謀者二名より一般に傳達したるより一時頃全く解散したるを以て今後は無事測量を遂行するを得べしと

●排日教科書と學部 一般韓人が政爭を好むは何人も周知せるところなるが近時に至り漸やく時局に對し悲觀を抱く者を續出せり而して其結果國利民福の增進を圖るべく國力の充實生産の發達改良を企て一面には第二の國民たる青年子弟に國民的自覺を扶植せん事に傾心するに至れり延ひて排日的教科書の類秘密に出版せられ各道の私立普通學校に於て之を採用しつゝあるもの尠からず學部にては之が取締に關し視察員を派して嚴視を怠らざるのみならず一方地方官警察官等に於ても終始注意を拂ひつゝあり要するに向後の韓民に對する形而上の感化如何は尤も重大なる問題にして何等かの教授により韓人をして自づから歸嚮すべき點を知らしむる迄學部當局者の方針は一種の矛盾を避くる事能はざる可

●忠淸南道瑞山近況 忠南瑞山は曩に警察署の開廳以來日人の移住する者漸やく多く居留民立小學校は去る十日開校し區裁判所も不日開廳の筈にて目下のところ日韓人官民約八十名を算しをれり遺憾むらくは同地に於ける商業上の實權は全く淸人の掌中に委ねられ現に一万圓以上の資本家二名を有し諸般の事業淸人に壓倒せられつゝあるの觀あり交通通信の狀態も又不便にて仁川港より海路瑞山郡瓮島及海州郡大湖芙に航行せば京仁龍より即日にして瑞山に達し得べきも瓮島及大湖芙間に二三の小山あり之を開鑿するに非れば交通の不便一方ならず此程同地を視察したる橋本副理事官は深く此點に注意し電話架設及仁川よりの定期航路に補助金を與ふるの運びに立至らしめんとて目下運動中なりと

●大三角測量の着手 土地調査局に於ては愈々來る二十八日頃より大三角測量に着手する筈にて同局の技師及技手は不日對州及釜山へ出張する筈なるが本來より云へは韓國に於て天體の測量を爲し以て基點を定むるものなるも日本に於て既に定められたるものを韓國に引く時は天體測量の手數を省くの便あるに依り對州へ出張する次第なりと云ふ

●師範學校設立計畫 吾在韓居留民は既に十五万に達し隨て小學校生徒數も年々增加し現在六萬を算せんとせるが其敎員は從來總て日本より招聘せる爲め兎角殖民地の敎育方針と伴はざるの嫌あり故に統監府は之に適合せる小學敎員養成の目的を以て師範學校を設立せんと目下調査中也而て決定の上は來年度豫算に計上すと云

●虎列拉病豫防勵行 昨年八月以降京城のみにてコレラ病に罹りたるもの十五名を算し仁川の如きは殆んど流行が常態なるかの如き觀あり依て内部衛生局にては流行の猖獗ならざるに先立ち充分の取締を勵行すべく警視廳に通牒を發しそれぞれ打合せを了したりと云ふ

●財産整理局存續期 度支部臨時財産整理局は土城調査局開設と共に廢廳すべかりし筈なりしが遺處分に關する未了事件ありし爲め存續し居りしも既に完了せるを以て六月限廢局すべき筈なりと云ふ

●共進會褒賞授與式 名古屋に開催中の關西府縣聯合共進會にては來る六月五日褒賞授與式を行ふ

●加越能人會開催 來る二十八日（土曜日）午後三時より米倉町和樂園に於て京龍間に在留する加、越、能三州人鄕友會を開催する筈なれば官民を問はず來會を歡迎すと因に來會希望者は京城にては十八銀行中西喜久男氏（電話七六三）龍山にては軍司令部林鉄十郎氏（電話二四四）へ申込むべしとなり

●松永議員の憤激 民團議員松永達次郎氏は京龍合併に對し民團財産の現狀より絶對的反對意見を持し現に皆川外五氏の交換的希望書にすら其調印を拒否せる程なるが目下病氣中の爲め二十五日夜の協議會に出席する能はず故に一篇の意見書を草して提出せり

●日韓瓦斯招待會 日韓瓦斯電氣株式會社にては二十五日午後七時より花月樓に於て京龍間の新聞記者招待會を催したり因みに同社の電燈は本年四月を以て加入一萬燈に達したりと云ふ

●兩鐵道員の入京 鐵道院米山技師及び南滿鐵道社員朝倉傳次郎の二氏は昨二十六日夜新義州より入京したり

●副理事官の招宴 橋本仁川理事官代理は明二十八日官邸に在留歐米人十數名を招待して午餐會を催ふす筈なり

●地方行政の視察 横山内部事務官は地方行政視察の爲め今二十七日出發平安南北道へ出張する筈なりと云ふ

●武田書記官入京 武田書記官廿五日午後十二時五分大邱發列車にて入京

●宮館警視の東上 宮館仁川警察署長は一兩日中に東上する豫定なりと

理事官と協議會

京龍兩民團合併問題は龍山側は殆んど全員一致京城側は八對十の多數を以て贊成に決したるを以て三浦理事官は此際合併案を發表し同時に其方法手續を協議せん爲め兩地民長及議員を京城ホテルに招き二十五日午後七時より協議する處ありたり開會に臨みて三浦理事官一場の挨拶を爲し該問題進行の經過及び官憲の希望を述べ夫より反對側に立てる皆川、中島、森、田中、秋吉、石井の六氏より理事官に提出し置ける希望書に就き其採否を質問せるが其希望の多くは他官衙又は議會に關係を有するを以て直ちに即答を與ゆる能はず然れば希望として之を聽取し置かんと三浦理事官の答辨あり茲に於て皆川氏は吾々は反對意見を懷抱するものなれば之が採否を確むる能はざる以上既に其協議に與るの資格なしとて憤然退席し石井氏亦次いで去れり斯くて後古城民長は殘餘の反對議員に對し懇篤頗る力めたる結果贊成側と雖も該希望に對しては同意せるを諒し中島、田中、森の三氏は漸く自我を收めて協議に與かれり其の結果理事官の示めせる合併案に對し何れも同意を表し散會したりといふ

兩民團合併具体案

京龍兩民團の合併は愈々實行に決したるが今其具体的手續は左の如し

一、合併の便宜上龍山民團を京城民團に合併の形式を採る事
二、合併は前年度の出納閉鎖期經過後七月初旬に於て之を實行する事
三、合併後の議員定數は三十八人とし合併後の京城民團を通じて本年十月八日始めて其選擧を行ひ投票には議員定數の三分の一の被選擧人の氏名を記載する事但し合併の際現在の京城及龍山兩民團議員は十月八日の選擧まで其儘繼續するものとす
四、合併後の京城民團は其出張所を龍山に設くる事
五、合併前の京城及龍山民團諸規則並に本年度歲出入豫算は合併の日より四十四年三月三十一日迄合併の結果兩立せざるものを除くの外總て從前の通りとす
六、龍山民團に於ける書記以下の吏員は合併後の京城民團に於て引續き採用する事
七、合併後の京城民團は合併前の京城及龍山民團の權利義務を其儘繼承する事
八、合併後の京城民團は助役二名を置く事を得る事

右合併の結果民團法施行規則の改正を要すべき點に就ては三浦理事官は其筋に具申し改正の實行方を取計ふべき筈なり尚は昨夜の協議會に於て左記二個の希望を表明せり

一、合併後の京城民團に必要なる事業及舊債整理の爲めに要する債券發行は合併後の民會にて之を議する事
二、京城民團立高等女學校を統監府所管に移されたき事

●民團合併時期手續 別項の如く京龍兩民團合併問題は二十五日の協議會に於て決定せるが其手續は龍山民團を廢して京城民團に併合するものにして統監府令を以て之を施行すべく又其時期は來る六月三十日が民團歲入出の決算期なれば之を了したる上實行するを便利とするを以て七月上旬發表する事に内定せりと

●仁川驛貨物積卸場 仁川停車場の貨物積卸場は規模狹少なる爲め降雨の際の如き濕を來す物さへあり加ふるに同貨物監視人は只だ僅かに一名なるより貨物の紛失する事間々あり惑は京龍の關門に位する貨物驛としては一大缺點なりとて其の改善を一般に希望し居れりと云ふ

●楚山地方の移住民 平安北道楚山地方は昨年不作の結果糊口に窮するもの續出し清領西邊界（高山鎭楚山對岸一帶）に移住して勞働に服するもの漸く增加し來り昨年十月以降二十六戶六百四十一人に達し内男三百五十五人女二百八十六人なりと

●檢事長の北韓巡視 京城控訴院檢事長世古祐次郎氏は咸興地方裁判所及其管内各區裁判所並咸興監獄等に於ける檢察事務及監獄事務視察の爲め黑岩書記を随へ來る廿八日午前九前南大門驛發列車にて出張の筈

●内務參事官入京期 滿洲地方視察中なる内務省水野參事官は來月十日安奉線にて入京すべき豫定なるが内部よりは地方警務の兩局より案内者を出し詳細なる視察を乞ふ筈也

●京城會議所役員會 京城日本人商業會議所にては二十五日午前九時役員會を開催し左の二議案を可決せり
一、店員勤續功勞表彰の件
二、店員教育講演會毎月一回開催の件

●墺國皇族の御退京 御入京中の墺國皇族ヲルレアン殿下には廿七日朝本多通譯官の案内にて京義線に依り御歸歐の途に就かるべしと

●ムンム大使の出發 滯京中の駐日獨逸大使ムンム男は豫定の如く二十七日午前五時十分南大門發新義州行き列車にて出發の筈なり

●獨大使隨員の歸東 獨逸大使に隨伴したる獨逸海軍中佐ヲンゲ氏は二十五日午後十時四十分南大門發列車にて日本に引返へしたりと

●李學部大臣の歸任 兼て南韓地方の學事視察中なりし李學部大臣には二十六日水原着同地の觀察を了へ今二十七日歸任すべし

公人私人

▲西英太郎（佐賀農銀頭取）廿五日入京
▲名倉竹次郎（鐵道院參事）廿五日退京
▲篠田穎次郎（東亞煙草販賣所主任）同
▲森井國雄（濟國道臺顧問）安東縣へ
▲内田鼎（海軍技師）平壤に向ふ

寄書

京龍合併問題（續）

田村義次郎

京城龍山は地形上別個の自治体を並立すべきものにあらずと謂ふは地理上に於ては敢て異論なし然れども惟地理上接續の地なりと云ふは自治体の組織に關して何等の意義なし都市が其自治体の下に其接續地を包括すべしと謂ふは相當の市街を形成したる後の事に屬す龍山に自治團体を創始したるは予は早きに失したりと爲すものなり然れども既に別個の自治体を鼎立し來りたる以上は種々の關係を其間に生じ今俄かに之を矯正するは頗る困難なるべし例へば京城民團に無くして龍山に在る所の家屋税の如く又兩民團に於ける租税の一方は重く一方は輕きが如し行政上の統一を缺くと謂ふも亦た論者の説に同意す然れども是れ何人の責に任ずべきものなるや試みに考一考せよ兩民團を並立せしめたるは居留民の所爲にあらず我等居留民は種々の困難及紛亂と巨額の負擔を招致して之を矯正するの義務あるや龍山は漢江に臨み舟運の便あり又鐵道の交叉點なりとは事實なるも漢江は江身屈折し淺瀨多く其深淺時に隨て變易し行舟の價値甚だ劣し滊車に然りとす鐵道の交叉點なりと謂ふと爲めに龍山は果して若干の價値を有するや運輸交通の目的は人民の集團地、貨物の集散點に在り龍山は京城の關門なりとは暫く論者の説に同意すべしと雖も是れ惟吐呑の爲めに必要なる通路たるに過ぎず他の民團と團體を以て相ひ爭闘する他の邦國と混同せば咽喉を塞塞せらると謂ふが如き論者の言も或ひは意義を爲さん然れども龍山は京城市街の存在する爲めに其利益を受くるものなり龍山が他の自治体の下に支配せらるゝとも京城市街に不利なる行動を執らざるべし何んとなれば是れ龍山に取りて自滅の策なればなり

▲治外法權▼

鐵日動ハタス博士が歐羅巴へ向け南大門驛からたつた老博士曰く南大門とパリー間が十四日パリーからさきが一日半、丁度十五日半で露國エヂンバルクへ着きますと▲博士は齢古稀を越した老人だ、ソレに從者も具せず平氣で長途の旅行をやる彼の達者自慢な大倉翁が侍女や按摩を連れて旅をするとは素より同日の談に非ずだ▲昔し仙臺の林子平は江戸灣の水とテームス河の水とが共通だと云つた爲に幕府の叱りを蒙つた、今は然らず南大門とパリーが鐵軌で續いて居ることは三ツ兒でも知つて居る、ドウか此鐵軌を利用してみんなが出掛る樣に仕たい▲今日は將棋を藉りて役人達の評をして見よう、マヅ石塚、倉富、木内、荒井の四人は定跡さした、併し石塚と木内の指口には時々弱氣が見ゆる其勢何の爲か餘りに定跡に拘泥する爲イザ勝敗となると敵に不覺をとる▲ソコへ行くと同じ定跡さしでも倉富と荒井は老功なものだ、彼等は無暗に盤圖に向はぬ、ヨシ向かつたにしても勝敗まではやらぬ、相手が惡るいと見ればイヤドウも恐入たとか何とか云つて引下がつて仕舞ふ▲小宮の指口は定跡三分の自己流七分だ、夫れでドウかすると無暗に定跡を掘鑿はす、ダガ素々實力が無いのだから岡口を納れる、マブタをする、其れでマケがコム許りだ▲岡に至つては宛然之れ田舍初段だ、彼の盤面に向ふや先づ相手の顔色を見るソシタトボケタ振して角の上の步を突く、相手は之に威かされる、彼はマツタもすれば待駒もはる、彼れの指口は全く賭け將棋だ▲韓と列國との條約本文が秘密函から現れ出た、外交權を預つて條約書なしに四年の間條約を履行し來つた統監府は偉らい▲淨田地方局長が新任郡主事に訓旨をした、此男身体が小い癖に言事は要領を得て居る。

シガー、ブドウ酒、ブランデー、洋菓子、果物カン詰類
ガレツト、シヤンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン水
卸小賣
歐米雜貨洋酒食料品
洋煙草類金銀屬美術品
直輸入商
京城本町二丁目
辻屋
本店電話二四八
支店電話三六六



民團議員戀ノ爭

▽アカメシと丈六の取組
▽宿坊は春日とされし野

孔子様威る夜のこと三尺帯を尻の尖に締め豆絞りの手拭を鷲摑みにして當地成金連の夢枕に立たせ玉ひ和郎達は折角危ねね橋を渡つて儲けた金を藝妓や女郎屋に運ぶ様だがソリヤ量見方が善くねぇと云ふものだ外に御安値なのがねぇと云ふのなら兎に角れ前達の家作にだつて相當なのがあるぢやあねぇか泥の中にも蓮花は開くよ何にも懐中合いと相談だ随分忠實に地獄谷から本町裏、米倉町邊から太平町と探して見ねぇ飛んだ乙なのが南京虫の申し兒の如に温突の隅に巢を作つてらア左様云ふ穴も知らねぇで好く金が貯つたなアウツソリにも程があらアど叱り玉ひけるにぞ一同縮み上つて了ひ孔子様と云へば唐士の大學者だとの事なれば其人が仰云る事に間違ゐのあらう筈なしと蛇度改悛致しますと申し上げたるに孔子様も云ひ甲斐ありと喜び玉ひ過つて悛むるに憚ること勿れとは俺がトウに云つた事だ、ナ渉うしろよと仰云つた以來と云ふもの兎に角一同申し合せて花月や翡翠やへは據なき會合の他行かねことにし専ら高等蠻を漁り味に變りのない所が妙だ孔子様も仲々隅へは置けないなア、なんかんと勿體ないことを云つて盛んに乙がつてる連中の間にも本町五丁目に本舖を構へ京城居留民團議員の肩書を有せらるゝコアメシとか赤飯とか云ふ人あり此の方孔子様の夢のれ告げを他一倍有難がり一切萬事其の方針にて發展中宿坊嬉し野にて召されたるは此ぞ其名をれさくと云ひ昨年九月中本紙に囚はれたる怪美人と題して記載したることある莫連女が御意に叶ひ成程蓮花は泥中に育つ淺草の觀音様も元は堀江の泥の中に居られたのを拾ひ上げたのだ違ねねと悦に入つて御座つたを誰れ知るまいと思つたは不覺で客の蠻は客が知る是れも同じ民團議員で明治町二丁目にれ住居の丈六とか云ふ白木屋の伴頭に似た名の人が臭ぎ附け京龍合併問題に就てさへも反對だ此の道にも一つ反對せずんばあるべからずと持合春日を宿坊として横取策を講じたるにれくには又赤飯君が御稼業の質屋根性で寝た間も算盤を放さぬと云ふ行き方に少々愛想をつかして居た所なので丈六君の同じ客でも少しは切れる所を見込むで濃厚と接待たるにぞ機を見るに敏き丈六君貸家の怪緒を一月延ばし其の金を無いものとしてれくにを活けの花として了つたのを二三日經つて赤阪君が聞き込み左様云ふ敵があつたのならモウ少し早く流質すのだつけと地團太踏んで口惜しがつたが跡の祭り夫れから云ふもの一層京龍合併問題に賛成して此所で仇を討たんと計畫中なりとか成程左様聞けば賦の色も只ではない様なり

滑稽二人艮人

▽兩方ともに氣縁取らず

北部禮賓洞八統一戸朱召史の娘金姓女(二三)と云ふは仲々の美人なるが昨年二月頃縁あつて西部壯稷洞に住居し宮内府の消防手を勤めて居る金啓善(二四)に嫁入りたるが男も好し親切でもあるので睦まじく暮し居たるがナンポ男が好くても夫れ計り食べて居たとてれ腹が充滿になる譯でもなく女房に親切だとて夫れが爲めに只で衣服を呉れると云ふ廣告も見當らないので少々考へ込んでる所へ持つて來て母親より同じ北部に住居する金伯奎(三五)と云ふ豪家の嫁に周旋する人があるから寧そ今の間に離縁を取らないかとの勸を受けたので夫れ幸ひと同年十月頃鉗り付く亭主を突き飛ばして其の方へ乗り込んで見ると伯奎は啓善と違ひて金はあれど醜男の上親切でないので人は米と赤豆とキミチのみにて活くるものにあらず何程あつても金は親切の代りにやならんと又々少々考へ込んでる所へ持つて來て未練のある啓善がれ入來〳〵を極めたので此度は無斷にて逃げ出し啓善の方へ逆戻つて妾や一日や二日食はなくてもれ前の男振りに親切をれ榮として居れば腹は減つてもひもじうないイーと何所で聞いたのか千松の聲音を使つて居ると一方伯奎は同人が百年千年待つたとて歸り相もなきにアーラ怪しやナ現在此の伯奎が殿御と極まつてるのは承知の上で逃げて行つたる金姓女此奴只の女ぢやあんめねと男之助氣取りで廿五日其の筋へ告訴したるより即日關係者を呼び出し一應取り調べの上金姓女は双方何れの男との關係すべからずと說諭の上放還された跡見送つた伯圭啓善の兩人は門の左右に立ち別れコンナ筈ではなかつたに取り逃したカチエーッ残念なとは察し申す

花月 君江の親不孝

▽生母みすより說諭願

學費を送つて岐途多き女の道を踏み外さすまじとの親の心も知らず顔に男とトチ狂つて此様に宜い事ならモット早くから初めるんだつけれ父ッあんやれ母さんも人が悪い自分で憂へるまで數へて與れずに置くんだもの随分だわなんて罰當りの多い世の中だ淫賣婦や藝妓をさせてる親が情夫や落てちを拵へて國元へ送金しない位のことで青筋立て說諭願なんぞを出すのは野暮だわ其所へ行くと私のれ母さんなんかは開けたもんさと安心む下紐をウント緩めて枕を外してグッスリ寢込んで居る女と云ふは花月樓の藝妓君江だ、花月の君江だ、モ一つれ剩けに本名八島梅子のことだ、然るに天網は此の寢込みへバッサリ掛つた野暮だはねねと邪慳に怒鳴つても駄目と云ふのは郷里福岡縣田川郡の炭坑内田中乙松方生母みすより今年になつてから何遍手紙を出してもいゝいゝいゝれたども申して寄越うんだものがつふれた…しません何卒政府の御威光をもちまして以來相當仕送ります様との說諭願ひを其の筋へ廿五日夜郵送して來たからなりイヤハヤ御愁傷さま

虎疫京城に發生

二十六日午後當地黄金町に於て日人一名コレラ病に罹りたり　各自注意を怠る勿れ

全島白鳥を以て蔽はる

仁川署員松村巡査の報告する處に依れば群山冲の一小孤嶋に德積列島白牙島居住の一漁夫が何氣なく假泊せしに同嶋は俗に云ふ鳥島なるが無數の鷗は同島を掩ひ靈さんばかりに群集し居れるにぞ且は驚き且は悅びつゝ上陸したるに鷗の卵は其處此處に山を爲せるにぞ夢かとばかりに取れる丈け採取して引揚げたるが後件の一韓人は船一隻を仕立て態々卵を採取せんが爲め數日前同島に向け出發したりとぞ

短銃强盜の判決

▽藤木商店員を脅かせし

長崎縣高來郡港町安永玄三郎(二六)が四月二十日午後十一時頃南大門通り藤木商店に到り短銃を購買するもの丶如く裝ひ店員に短銃二挺を提出せしめ傍に居りし小僧に其の一挺に裝塡せしめたる上小僧より奪ひ取るや店員等に差向け威嚇し店員等が狼狽し居る隙に乘じ右短銃及彈藥五十發代二十五圓を强奪し其の儘龍山元町四丁目四番戸藤井くに方に到り金を出さねば一發の下に打殺すぞと脅迫し金二圓を奪取し又祝町八十五番戸の一本間藤吉方にて金八錢を强奪し逮捕せられたる事件は當時報道したるが今回京城地方裁判所に於て審理中の處廿五日懲役十年に處さる

●元雇人の黃泥棒

濱江通り三丁目四十八番戶林信行(二三)は曾て韓國駐剳第六師團司令部付酒保支配人高野周三郎に雇はれ居りしが事情ありて解雇せられたる后も同酒保に出入し居りたる處放蕩の末遊興費に窮し三月八日の夜酒保看守者の隙を覗ひ各種煙草二十箱を窃取し同二十八日夕方同二十箱四月三日夕方同十三箱及刻煙草三十袋を窃取したる事件は二十五日京城地方裁判所に於て懲役二ケ月に處せらる



女振り

兒玉伯爵夫人
兒玉澤子

澤子夫人が寺内陸相の息女で、兒玉伯爵は兒玉大將の令嗣で統監府書記官であると云ふことは皆さん既に御承知のことであらふ、明治十四年の生れでれ茶の水高等女學校出身のオ媛である、れ父さんに似て明晰な頭腦と緻密な思慮を有せらるゝ『明鳥や夕霧は私の如な者には聞いても解りませんの』とは夫人が或る種の人に對つて浴せかけた婉曲なる罵倒である、一時は小宮夫人と共に韓皇后の登講として一週二回宛王城に伺候せられて居つた、夫人の道樂としては畜生を養ふて夫れが成功と見たいと云ふにある、頗るの平民主義で統監府の小使や理事廳邊の使丁が往つても叮嚀なものである、スペルの殿さは秀雄君の頭が禿げて居る所から藝妓蠻が奉つて尊號で夫人も時には熟々眺め入つては厭に堪へぬ聲音で『貴郎のれ頭は父のよりは美しいと思ひます』と褒めらるゝ事もある相で夫れを機會にれ羨ましい睦ましい戲論が始まるともあると云ふ、秀雄は如何に遲くも必ず歸宅致します併し膳部の八釜しいことは無類で直接の鹽梅でなくては納まりませぬが氣に入ると心持能く戴きますから張合は御座いますとは夫人が一種の誇りである、本年十歳に成られた孃さんはれ祖父さんのお手許に御座る、夫人は目下佛語のれ稽古に御熱心だれ不在中だが一寸敬意を表して置く

●不都合なる客引

仁川花屋旅館の客引なる熊谷春吉(二〇)原金岡松岡甚左衛門(二三)白石岡藤本與市(二六)の三名は一昨日仁川驛前にて旅客を引張凧にし宿泊を强ひつゝあるを警官に見咎められ派出所に同行嚴しく將來を戒む

●淫賣の拘留處分

仁川京町二丁目飲食店和田シヅは碇船中の天草丸乘組韓人孫海逸(二〇)を宿泊せしめし處により亦た同店酌婦小川サク(二〇)は同人に對し一圓五十錢にて密淫賣を爲したる廉により兩人共仁川署に引致拘留處分に附せられたり

●臨濟寺の微笑會

二十七日午後四時半より初音町臨濟寺に於て圓山太嶺禪師の例會提唱ありと云ふ參聽隨意

旭公園の開園式

▽京城藝妓の總出

屢々報導したる旭公園の設備は此程に至り略完成したれば愈々來る二十九日盛大なる開園式を擧行する事となれり當日の來賓は日本側官吏は石塚長官を始め重なる高等官軍隊側よりは大久保司令官以下各部長松長師團長以下各部長榊原憲兵隊長以下各部長及居留民の重なる有志六百名韓人側よりは各大臣親任官勅任官漢城府民會議員京城商業會議所常議員等にして總數無慮千餘名に達せり當日は午前より數發の花火を打揚け正午十二時より開園式を擧行し午後三時式了すべく其より式場を開放して余興を一般の觀覽に供する筈にて尙當日は諸種模擬店の寄贈あり余興には京城日報社職工長吉田幸吉氏の篤志にて部下數名と共に素人演劇を寄贈せられ京城座に集合して屋台を出し花々敷式場に乘込む予定なり外に筑前琵琶、藝妓手踊、劍舞等あり尙京城中の藝妓は特に當日總出にて興を援くる筈なれば定めし未曾有の賑合なるべしと

目と耳

▲歌舞伎座　軍事講談桃川若燕一座二十四日(四日目)の番組左の如し　稻川仇討(燕樂)大和曲藝數番(一九)火燃の曲(同人)筑前琵琶城山、川中島(春子)赤穗義士中山馬場仇討より舞入迄、旅順二龍山士屋光春將軍逸話の長講二席(桃川若燕)

▲浪花館　毎夜大入札留めの大景氣にて定刻以後のれ客を謝絕しつゝある同館二十七日の番組は左の如し　小倉舟(若三郎)無筆(若明)小波丁稚(圓三)膾ップシ(笑三)景淸(文蕎)喜劇毎夜替り(座員總出)新明烏上の巻(若遊三)大切所作事電氣應用

▲壽座　中村翫若一座に更らに中村翫太郎等を加へたる同座にては今回大强勉にて特等六十錢外三十錢均一にて早い者勝ちとしたるが二十七日の藝題は前『千本櫻』切『牛に曳れて善光寺詣り』なる由にて重なる役割左の如し　狐忠信(翫若)娘れ里、女房小仙(芝三郎)猪熊大之進、梶原平三(三之助)静御前、善光寺如來(内匠之助)鮨屋彌左衛門(九十郎)小金吾、百姓與茂作(竹三郎)維盛、母たとら(翫太郎)いがみの權太(大含)

▲龍山座　同座二十七日の藝題は木村一座の十八番『三日月れ六』にして附は二十五錢均一に改めたる由なり　娼妓櫻木(君子)幼年のれ六(澤井)妓夫喜助(内田)野毛喜吉(富士井)川口六造(寺田)肴屋新助(桃井)娼妓白菊實は三日月れ六(木村猛夫)



井門の奴と云へば知る人ぞ知る、去る八日京城日報の千紫萬紅欄で寫眞までを晒らされた上二束三文に叩かれたるが、其後奴は口惜しさに不堪左の一書を本社に寄せしも三面子の手落ちよりツイ机の抽斗に仕舞込みしが漸く今朝机を掃除する際發見したれば遲れ走せながら左に

(前署)色が黒くて、デップリとして、頸が短かく、最う一つれまけに藝も上手でないとは日報記者さんの御眼鏡通りサヲ〳〵無理とは不申只不幸に生れ附いた身の上を怨むのみに候、されども妾が尾の道に稼業を爲し居たりとは全くの誤りに候、元より居らざるものが、其土地で乃物三昧の騷動を起す筈もなく、何もかも間違ひに候、尤も一人の子を擧げたるは事實に候、女が子を產んだとて何んの不審議は有る間敷と存候根が未熟もの丶事故如何なる御惡口を受くるも是非なき次第ながら、人氣稼業の事に候へば、罪科もなき者を左樣に惡しさまに御書きなさらなくとも宜しき筈、併し是れは日報の記者さまが悪いのではなく、そんじよそこらの意氣地なし奴が江戶の仇を長崎と出掛けしものに相違なくそれを甘んじて御承諾なすつた日報の記者さんもよつぽどオタンチンかと存候、藝に就いての御惡口もありしが妾とて多少の修業は致居り候一度公然御登樓の出來る資格を作つて御越しの上御試めし被下るなれば幸に候(後略)

都々逸　濱の家主人

三遊亭若遊三君へ
年齡は二十二三遊亭の
花の盛かりの若遊三
同丈の踊りを見て
開らく末廣舞の袖輕く
吹くよ濱風松づくし
浪花館大入を祝し
毎晩大入り客あし繁く
寄せつ返しつ浪花館

今日の運勢

五月廿七日舊四月十八日二黒先負 壬辰閉△一白●婁縮の日新事見合せたるべし倘保證受印世話事を戒しむ△二黒●部下配下の爲損害係累あり酒色の破れを戒しむ△三碧●過失備意より業務に失錯あり新事旅行相談依囑効なし△四綠●取引金品授受紛紜あり尙勸獎を受くるあらん△五黃●世話保證受印を禁ず尙部下配下の事損害心配あり△六白●快欣の日なり大抵吉農礦業及水利の事尤も吉△七赤●勢利を増す日なり子孫の計をなし雇入使傭吉△八白●模樣替方針替旅行轉住好し家庭の事配慮あり△九紫●會心の日大抵吉殊に接見依囑修交訂約に吉

廣告

韓國土產話
甲、當地には良い貨はありませんね所々の貨屋で買つて見たがだめですね
乙、日希商會へ行つて見ましたか彼店には良いのがありますよ
甲、そーですか、何處です、
乙、あいご‼ 本町二丁目 日希商會 御存じないの？の西洋人の貨店を？晩に本町を散歩すると何人でも直に氣が付く筈ですがねあの日韓書房の筋向の…火を消したり燈けたり絶ずして居る電燈廣告の付けてある店です彼の店で賣る EDP 印埃及金口莨が大王でしよー、私も彼店で久しく買つて居るが貨が良くて割安で一番良いです是非一度行つて喫んで御覽なさい

今般本院特に胃腸病專門科を置く
龍山元町二丁目 佐藤病院 電話一〇三番

京城明治町二丁目(佛國教會前)
辯護士 特許辯理士 岩田仙宗
電話三五四番

京城明治町一丁目勸商場前(電話一一九八)
金錢貸借電話讓渡 土地家屋老舖賣買 人事百般其他
周旋業 明治屋

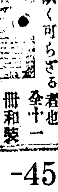
內外科 花柳病 (入院隨意)
京城南大門外 戸田病院 電話九三八番

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室(皮膚病黴毒泌尿生殖器科教室)奉職の處今般辭職左の處に開業專ら皮膚病黴毒痳病膀胱病(生殖器機能障碍)の診療に從事
診療(午前自八時午前十二時迄 夜間自五時九時迄) 入院隨意
南大門通三丁目 支那領事館前通 京城郵便局後
院主 佐藤伊[illegible]
佐藤皮膚病院 電話一一七三番

ラムネ みかん水 金水舍製
例年の通り純良なる「ラムネ」みかん水製造販賣候間多少に不拘御愛飲を乞ふ
漢城製藥所 藥劑師 渡邊悅之輔 京城大和町二丁目

三一館
熱心眞摯志多年[illegible]
京城本町五丁目
易斷觀相教授 館主 土御門派大陰陽師

諸建築請負業 ペンキ塗
永樂町二丁目(赤門通り)
正 渡部正美 (電話一〇二八番)

子爵金子堅太郎君序
子爵秋元興朝君序
故末松謙澄君序
田口米作君著
日本新聞主幹神東伴君補訂
(新刊) 色彩新論
○插畫十數葉▲定價七十錢郵稅六錢
森羅萬象一として色彩ならざるなし雄大と云ひ華麗と云ひ優美と賞し崇高と稱し外なく應用ハ廣くして且深き色彩の學に及ぶものなし、然も本邦未だ是に關する良書あるを聞かず、本書は其色彩の原則及適用を記する秩序整然議論精確實に繪畫界必須の大著述たるのみならず荷も色彩に趣味を有する諸彦の座右缺く可らざる者也
全一冊 和裝美本

發行所 ○特價金壹圓八拾錢郵稅金拾貳錢 東京神田通新石町 電話本局九七〇番 ▲振替貯金口座東京一一九〇六番 東陽堂

諸看板製作
油繪肖像畫●硝子金文字入 ペンキ塗工事大勉强請負
永樂町二丁目 赤門通り 椹野工舍

廣告

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話一千四百〇九
ふり德商店

訴訟非訴訟登記戸籍上の變更訂正請願契約起案諸會社定欵作成其他諸般の代書
右者拾數年の經驗と精實さを以て迅速に依頼者の滿足を旨とし事の大小難易を問はす自ら其衝に當り極力成効を期す
京城裁判所前向
池田事務所

マッサージ術
僂麻質斯。坐骨神經痛。脊髓炎。腰筋骨一切の術
小生儀内地に於て他年の同斯業に從事致し居り多數の患者を全治せし經驗有之候處今般左記に出張所を設け廣く患者の需に應ず
京城西小門通(三ッ角)
佐世保より出張 井手

入院隨意
内外科
小兒病
梅毒淋病
京城西部町三丁目
高井醫院
電話二二六
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

開業御披露
和洋會席御料理
本月十五日より開業
仲居及料理人其他器具類一切神戸より輸入し御待遇親切設備高尚にして頗る美味なる御料理を以て勉強致候間陸續御來遊之程奉希望候敬白
京城旭町三丁目
神戸 富田家支店

入院隨意
内科
小兒科
京城日の出町小學校前
多々見醫院
電話九百四十番
從七位勳六等 前大韓醫院醫官兼同附屬醫學校教授
醫學得業士 院主 多々見五郎

足袋
麻裏
和洋酒雜貨
醬油
販賣
龍山元町三丁目(電話三二九番)
中谷商店

純良特製牛乳
荒井牧場

夏物聯合大賣出

自五月二十四日
至五月三十日

呉服商組合
(いろは順)

林呉服店
電話六百五十二番

山枝呉服店
電話二百二十四番

山口呉服店
電話九番

圓城呉服店
電話百五十七番

恵阪呉服店
電話七百二十六番

末永呉服店
電話六百八十二番

現金ニ限リ聊添物進呈

見切反物寄切種々

(但シ添物ナシ)

京城相生町南門通横(電話一二九四番)
京城梅毒病院
自午前八時
至午後九時
●花柳病専門 附、痔疾一般
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平

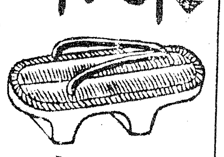
●朝鮮唯一の土產夏季滋養●夏痩の人は必ず飲め
賜東宮殿下御買上品
清國領事館御買上品
韓國京城博覽會褒狀受領ス
世界第一等の滋養品
生雞卵に優る効數倍
滋養強壯人參飴
元祖發賣元 京城本町二丁目
井口順生堂藥房
本品は滋養剤として東洋第一と稱せらるゝ朝鮮人參を以て精製したる物にて朝鮮唯一の御土產品なり本品は殊に夏季の强壯剤として頗る適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ
◎特約販賣店は京城、釜山、仁川、平壤、開城、龍山、鎭南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於てす最寄にて御買求を乞ふ
京城本町二丁目(電話一九九番)
井口大藥房
京城大阪賣店
(本支)
龜屋店
青木堂

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番
四九二番
日本室和食
特等 三圓五十錢
一等 二圓五十錢 二圓
二等 一圓八十錢 一圓六十錢
三等 一圓五十錢

明治廿年七月創立●京城代辨店 本町四 山口呉服店電話九番
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓● 事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

値上廣告
韓語大成
一部一圓八十錢
郵送料十五錢
從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正增補致候間前記の通り値上候也
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國二五六番

東京
足袋



本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

廣告
民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定
貸金證劵、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘現金買入
貸債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は懇切依頼に應す
貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事訴訟事件
右は迅速確實に依頼者の滿足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ
京城旭町二丁目百四十五番戸
堤重四郎法律事務所
鍾路典獄後洞廿一統六戸
同鍾路出張所

金魚各種
卸小賣
陸軍御用達
龍山山下町一丁目(兵器支廠官舍入口)
馬木勇吉本店
電話三六四番
茶器商
京城本町五丁目一番戸角
馬木勇吉支店
電話四七一番

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐ヂシン
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
山口縣國合資會社大嶺炭特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話三〇番)
出張所 東京十番 京城新町 商船埠頭 一丁目二九六番三

夏物大賣出し廣告
かや
太物
洋反物
浴衣地
久留米絣
蒲團地
わた
見切反物並につり切類其外いろく
賣出期間
五月二十四日より三十一日まで
正價より五分引
行く春の宮は緑にかくれて白妙の衣ほすてふ夏は來り江湖各位それぞれの御支度遊はされ候に就ては今回新着の新柄珍柄流行品取揃へ此の好機を期し平素の御厚志に酬ゆる爲め前記の大割引を以て貴需に應し各位の御便利相圖り度微意を諒せられ續々御來店之程伏て奉希願候 謹言
關戸蚊帳株式會社韓國代理店
京城明治町壹丁目
唐川立造商店
電話二六一番

特約販賣自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
支那白菜漬
朝鮮菜葉漬
大賣出し

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
(鋳そば横町)電話一五八三